



第86号 平成24年7月20日 発行 飯田 次所 用賀 出 張

夜空を彩る 夏の風物詩

香川三吉 山田修一

花火の色は、ある金属が燃える時に独特な色を発する炎色反応を利用してしますが、現在のように色鮮やかなものになったのは、明治時代に海外から多くの金属系薬品が入ってきて、より多くの色が出せるようになってからだといえます。

打ち上げ花火の種類には、破裂した時に星が球状に飛散する「割物」が代表で、その中には星が尾を引いて広がる「菊物」、尾を引かない「牡丹物」、二重の球状に広がる「芯物」があります。

又、ランダムな方向へ星が飛び「蜂」のような「ボカ物」、「土星」のような「型物」などがあります。

打ち上げ本数では隅田川には及びませんが、芸術性の高い世田谷の花火大会をお楽しみ下さい。



ラジオ体操

夏三吉 渡辺京子

暑い夏がやってきました。今年もラジオ体操を行ないます。

一九二八年に始まったラジオ体操も今年でもう八四年。

最近では、「実はスゴイ、大人のラジオ体操」という本も出版され、身近なエクササイズとして見直されているようです。

一日の始まりのほんの十分ではありますが、子ども達と一緒にラジオ体操をしませんか。

期間 八月二七日(日)～九月一日(土)

時間 七時～七時十分

場所 (A) 玉川台広場

(B) 用賀神社境内

(C) 桜町小学校外資員

夏は来ぬ

瀬田の夏の行事

夏三吉 入江 真

「はい、一年生から順番に夕飯のカレーをもらってください。」

毎年、夏行われる、瀬田小おやじの会主催のサマーキャンプ(学校でのお泊り会)の風景です。子供たちと一晩一緒に過ごすお父さんたち。「町のお父さん」を目指して頑張っています。

「みんな輪になり踊りましょう!」

瀬田商店会が主催する「瀬田納涼盆踊り大会」。

ご近所さんが集まって踊りの輪を作ります。

ともに瀬田小学校で行われる七月の恒例行事。沢山の顔見知りを作って、地域の絆を深めましょう。

(瀬田商店会副会長)

町会長に就任して

夏三吉 鎌田嘉次

この度、鈴木喜八前会長の後任として選出されました。八十年の歴史ある用賀町会の発展に寄与された先輩の方々の功績を汚さぬよう、町会のために何が必要か、何が出来るかを念頭におき、進めていく所存です。昨年の東日本大震災により、地域の絆が一層大切であるかと思えます。

私、もとより微力ではありますが、用賀地区の皆様のご協力のもと、「明かりの住みよい町づくり」のために努力をしていきたいと思えます。

どうぞよろしく願いいたします。

私の健康法

夏三吉 和田義則

私の健康法は、朝のジョギングです。

六年程前より、のんびりと碓公園や町中を走っています。走り始めた頃は、五百メートル走るのがやっとでしたが、今では十キロ程度のジョギングを続けています。

以前は、風邪など、案外病気がちでしたが、今では殆んど病気をしなくなりました。

朝日を浴びて気持ち良く走っています。

また、上用賀町会主催で毎週、月、水、金曜日に、用賀小学校校庭で、ラジオ体操を行なっていますので参加されてはいかがでしょうか。

(元用賀小学校PTA会長)

木洩れ日

飯田恭次

早いもので、今年の暦も折り返し点を過ぎ、夏本番、子ども達にとって楽しい夏休みがスタート。

数年前から始まった省エネルック「クールビズ」は東日本大震災後の原発事故対策、電力不足により一層加速化、かつての衣更えとか夏服と云う言葉に懐かしさを感じます。

さて、安心、安全な日常生活の願いを一拳に崩してしまった東日本大震災……私たちは自然災害と人為災害の怖さを、あらためて学んだ様に思います。

地震・津波・台風・豪雨・火山噴火等の自然災害に加え、戦争・火災・交通事故、各種公害・環境破壊等々の人為災害……宇宙船「地球号」は国境を越えて真剣に取り組まなければならない時を迎えています。

私は所謂、国民学校世代、小学校時代を軍国日本の中で育っています。

昭和十九年の夏、京西国民学校四年生の時、新潟県南魚沼郡六日町のお寺に学童集団疎開をし、帰京したのは翌年の十月、太平洋戦争が終って二ヶ月後でした。渋谷から玉川電車に乗って用賀へ、途中、三軒茶屋までは右も左も焼野原……今、戦争の無い平和な時代と物の豊かな日々々に心より感謝しています。



郷土紹介

むかしの道

太さおしき金平井夏子

八月十日は道の日というのを存知でしょうか。

道について遡ってみますと、古代の行政区分でもあった五畿七道に則れば、この辺り武蔵国は、当初はへやまのみちの東山道に属していました。しかし、東山道で武蔵国の国府である府中を通るのは不便ということになり、その後はへうみつみちの東海道に編入されました。

ちなみに、古代の官道はともかく、幅十二mの遺構も発掘されています。江戸時代に作られた用賀の中丸地蔵には、大古道と府中道が示されています。

学校と地域の連携の力

学校と地域の連携の力

用賀小学校長 宮本正彦

用賀小学校に着任して約四ヶ月が過ぎました。用賀地域の方々の温かく、そして前向きで元氣な活動に多くの感銘を受けました。本当にすばらしい地域です。

本校では夏休みに、スマイルスクール、早朝のラジオ体操、映画会、やぐらの会「金踊り」など用賀小学校と地域と連携した行事がたくさんあります。これらの行事へ参加した子どもたちは地域に対する想いが育ち、この地域を大切にしていきたいという心が育まれます。

一人でも多くの子どもたちが参加するように積極的に声をかけしていきます。よろしく願います。

官道とは違い、大きく立派な道ではありませんが、古代の要所であった府中に行く道は、その地域の中で古くからある道でした。

時代は下り、中世になると、いざ鎌倉への鎌倉道があります。鎌倉に行く道は総じて鎌倉道と呼ばれていました。特に上・中・下道が有名です。

世田谷区内には用賀や瀬田も含め、この中道が通っていたとされます。

近世では大山街道があります。元来、矢倉沢往還とも呼ばれ昔からある道でした。世田谷を通る大山街道は青山道とも言います。

実は各所に大山街道〇〇道と呼ばれる道があり、様々な地域から人々が大山を目指したのが窺えますね。



はじめまして

用賀出張所 石井正純

四月より、区政情報報から用賀出張所に異動して参りました。出張勤務は初めてで、デスクワークが多かった今までは違い、新鮮な気持ちで日々仕事をしています。

世田谷区ではありませんが、私は国分寺崖線と野川がすぐ近くにある場所です。自転車で崖線の坂道を登るとき、小さい頃苦労して上った記憶が蘇り、とても懐かしい気持ちになります。これから、手書きで温かみのあるこの「ひろば」が、まちの皆さんの繋がりと、そしていつまでも続くよう、編集委員の方の力になりたいと思います。

(用賀出張所まちづくり担当)

緑のまち用賀

用賀丁目 増田晃宗

梅雨が明けて、草木が勢いを増して行く今日この頃です。

思えば用賀で生まれ育った私が子供のころ、この町ももっと緑が多く、畑や木々の多い所でした。それゆえ、夜一人で家路につく時など、道は砂利道

街灯は裸電球でアルマイトの丸い傘。灯りはボンヤリついていて程度の薄暗い道。風がちょっと強いと、大きな木々のざわめきが怖く感じ、足取りが速くなったものです。しかし、成人して、都会や、下町へ行くこともあり、その街中を歩いていると、鉢やアランターに花が植えられ、きれいに飾られているのに、何となく心休まる

わが故郷

感じがする場所が少なく思えました。そう、自然の野の草、大木が少なくないからなのだと気がつきました。今、還暦を過ぎ、この町で暮らし、昔怖く感じた木立の音も、快く感じるようになりました。

散歩に出た折、自然の草木がまだまだ多く、春には、桜、ホトケノザ、ヒメジオン、カタバミ、つゆ草、これからサルスベリと私を楽しませてくれます。

年齢を重ねてきたからゆえ、この町のよさを感じる今日この頃です。

そんな自然が、まだまだ残るわが町、わが故郷に感謝をこめて、小さく乾杯！

(用賀町会副会長)

スポーツ

今年の夏の行事

金踊り

用賀くすのき公園

7月25日(水)26日(木)

〇二子玉川西地区

ふれあい広場

7月27日(金)28日(土)

〇瀬田小学校

7月28日(土)29日(日)

〇用賀小学校

8月17日(金)18日(土)

子ども映画会

〇用賀アートホール7月24日(火)

〇瀬田小学校 8月7日(火)

〇用賀出張所

活動フアール 8月10日(金)

〇京西小学校 8月28日(火)

納涼の夕べ

〇用賀くすのき公園 8月21日(火)

Youga Summer Festival

用賀くすのき公園 8月25日(土)26日(日)



夏の夜空に描かれる一瞬の絵画、花火。花火といえは、オリンピックでは主催国が趣向を凝らした花火が華やかです。

ところで、今五輪では、初めて全26競技で女子種目が行われ、又、全参加国、地域が女子を参加させる初の五輪になる見込みと報じられております。花火のみならず、この事にも関心を向けて観戦したいものです。

今夏は世田谷区の花火大会も行われます。世田谷区の花火は芸術性が高いと、今号で山田さんが書いておられます。

まあ、夜空の饗宴を楽しみましょう。(折原)